

勉誠出版

中古文学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: 7796729bb3
(期限: ~2020年12月31日)

謹啓

秋冷の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 7796729bb3 (期限: ~2020年12月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**(※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

*ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
中古文学会の会員であることをお知らせください。

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



勉誠出版 注文書

Email info@bensei.jp
FAX 03-5215-9025

ご送付先(氏名・住所・電話番号)

通信欄 ※お支払い方法(公費・私費)、必要書類はこちらにご記入ください

※割引クーポンコード: 7796729bb3 (期限: ~2020年12月31日)
こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!
※注文書に記載のない書籍につきましても弊社書籍は全点2割引にて承ります。

No.	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	割引価格	冊数
◆事典・総記							
1	文化情報学事典	村上征勝 監修／金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	2019/12	20071	18,000	15,800	
◆古典文学・文学史							
2	医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	20072	12,000	10,600	
3	源氏物語と平安朝漢文学	長瀬由美 著	2019/2	29173	7,000	6,200	
4	本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	2020/2	29224	3,200	2,800	
5	仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合 全注釈	石川一 編	2020/3	29195	10,000	8,800	
6	挑発する軍記	大津雄一 著	2020/10	22292	3,800	3,300	
7	源氏物語の近世—俗語訳・翻案・絵入本でよむ古典	レベッカ・クレメンツ／新美哲彦 編	2019/8	29186	12,000	10,600	
8	江戸庶民のまじない集覧—創意工夫による生き方の智慧	長友千代治 著	2020/10	20076	6,000	5,300	
9	お伽草子超入門	伊藤慎吾 編	2020/7	29188	2,800	2,500	
10	南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾 著	2020/3	22270	7,000	6,200	
11	吉田松陰と学人たち	徳田武 著	2020/9	22291	10,000	8,800	
12	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	29196	10,000	8,800	
13	杜甫研究年報 3 杜甫研究年報 第三号	日本杜甫学会 編	2020/5	29443	2,000	1,800	
14	白居易研究年報 20 白居易研究年報 最終号 特集 歌舞音楽	白居易研究会 編	2020/9	07098	9,000	7,900	
15	平川祐弘決定版著作集 アーサー・ウェイリー『源氏物語』の翻訳	平川祐弘 著	2020/7	29424	14,000	12,300	
16	古典文学の常識を疑う II—縦・横・斜めから書きかえる文学史	松田浩・上原作和・佐谷眞木人・佐伯孝弘 編	2019/9	29183	2,800	2,500	
17	古典文学の常識を疑う	松田浩・上原作和・佐谷眞木人・佐伯孝弘 編	2017/6	29147	2,800	2,500	
◆歴史・文化財・美術史・思想史							
18	古代の日本と東アジア 人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/7	22279	10,000	8,800	
19	新羅中古期の史的探究	武田幸男 著	2020/7	22278	12,000	10,600	
20	古文書研究 第89号	日本古文書学会 編	2020/6	22416	3,800	3,300	
21	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編 国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	22272	7,800	6,900	
22	日本の装束と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	20073	7,000	6,200	
23	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	22257	10,000	8,800	
24	金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集	永井晋 編	2020/9	22288	10,000	8,800	
25	近世大名墓の考古学 東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/6	22276	12,000	10,600	
26	生きるための地域史—東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志 編	2020/10	22290	8,000	7,000	
27	儒教儀礼と近世日本社会 閩齋学派の『家礼』実践	松川雅信 著	2020/7	21056	10,000	8,800	
28	日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	22266	6,000	5,300	
29	近世豪商・豪農の(家)経営と書物受容—北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/2	22265	10,000	8,800	
30	近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス 編	2020/2	22267	7,000	6,200	
31	江戸日本橋問屋の記録—「にんげん」伊勢屋高澤伊共問屋の口文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	22269	11,000	9,700	
32	スイス使節団が見た幕末の日本 プレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・プレッワルド日記研究会 編	2020/6	22275	9,800	8,600	
33	ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子 監修／牧野元紀 編	2020/8	22286	3,800	3,300	
34	『豆夜叉文庫』—「ハルカ」図書館蔵マレー氏収蔵文書目録	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	22261	12,000	10,600	
35	琉球船漂着者の「聞書」世界—『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	29197	10,000	8,800	
36	新彰義隊戦史	大藏八郎 編	2020/9	22285	7,000	6,200	
37	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	22268	17,000	15,000	
38	日本画の所在—東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	27055	6,500	5,700	
39	宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著	2020/6	22069	4,500	4,000	
40	「本読み」の民俗誌 交又する文字と語り	川島秀一 著	2020/6	23081	3,500	3,100	
41	メディアのなかの仏教 近現代の仏教的人間像	森覚 編	2020/5	21054	7,500	6,600	
◆日本語学・言語学							
42	龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	2020/4	28050	18,000	15,800	
43	国宝 漢書楊雄伝 第五十七	京都国立博物館 原本所蔵・編 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 解説	2019/12	28046	35,000	30,800	
◆アジア遊学							
44	240 六朝文化と日本—謝靈運という視座から	蔣義喬 編著	2019/12	22706	2,800	2,500	
45	241 源実朝—虚実を越えて	渡部泰明 編	2019/12	22707	2,800	2,500	
46	242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	22708	2,800	2,500	
47	244 前近代東アジアにおける(術数文化)	水口幹紀 編	2020/3	22710	3,200	2,800	
48	245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	22711	2,800	2,500	
49	246 和漢のコードと自然表象—十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	22712	2,800	2,500	
50	248 明治が歴史になったとき 史学史としての大久保利謙	佐藤雄基 編	2020/6	22714	2,800	2,500	
51	249 漢学とは何か 漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城 編	2020/7	22715	2,800	2,500	
52	250 酔いの文化史 儀礼から病まで	伊藤信博 編	2020/8	22716	2,800	2,500	
53	251 仏教の東漸と西漸	荒見泰史 編	2020/9	22717	2,800	2,500	
54	252 中世日本の茶と文化 生産・流通・消費をとらえて	永井晋 編	2020/9	22718	2,800	2,500	
◆書物学							
56	第18巻 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/7	20718	1,800	1,600	

白居易研究会 [編]

白居易研究年報

最終号

特集

歌舞音曲 附

日本国内白居易研究
文献解題目録

詩とともに、白居易の生命の核心にあった音楽。

白居易が音楽を詩篇に取り上げる際、

自らの感性や嗜好をどう表現し、いかなる意味を有していたのか。

また、それは日本文学にどのような影響をもたらしたのか。

研究に有用な、戦後日本における歌舞音曲研究七十数篇の概要を記した「一覧」も付す。

また、二十年にわたる日本における白居易研究文献「解題」をすべてまとめた、

合計四〇〇頁超に及ぶ「日本国内白居易研究文献解題目録」を付した。

白居易研究のすべてを網羅した保存版！

全20巻
完結！

はくきよいけんきゅうねんほう
かぶおんきょくふにほんこくない
はくきよいけんきゅう
ぶんげんかいたいもくろく



収 録

特集 特集・終刊に寄せて……下定雅弘

霓裳羽衣曲の幻——唐・宋音楽をむすぶ架け橋としての白居易……中純子

流れる汗・にじび汗——白居易における舞妓の汗描寫を中心に……山崎藍

白居易の音楽愛好——詩文に語られる感性と嗜好……谷口高志

能「花籃」と「李夫人の曲舞」……大谷節子

【紹介】楊宗瑩「白居易の愛好——音楽」……森岡ゆかり・下定雅弘

戦後日本における白居易の歌舞音曲に関する研究（解題）……下定雅弘

古今著聞集・跋文考——白居易の画像および「狂言綺語」との関わり……北山円正

『徒然草』第七段と白居易の人間観——『莊子』との関わり……李現

【研究ノート】卷三・四「新楽府」五十篇——旧鈔本から刊本への位相の変化……神鷹徳治

【訳注】晁迥『法藏碎金録』所収白居易関係資料訳注稿（四）……澤崎久和

【書評】議論を促す新説の提起——陳狷著『日宋漢籍交流史の諸相——文選と史記、そして白氏文集』……大淵貴之

【書評】神鷹徳治著『白氏文集諸本の系譜』……甲斐雄一

戦後日本における白居易の研究（白居易・白氏文集に関する研究）——二〇一八——

……中木愛

本体九,〇〇〇円（+税）

A5判並製・七五二頁

二〇二〇年八月刊行

ISBN978-4-585-0798-6 C3098

【日本国内白居易研究文献解題目録】……下定雅弘

日本における白居易研究文献解題——一九九八年以後——

日本における白居易受容研究文献解題——一九九八年以後——

著者論題一覧

編集後記……新聞一美

書名	部数
白居易研究年報 最終号 特集※歌舞音曲 附 日本国内白居易研究文献解題目録 白居易研究会 [編]	本体9,000円(+税) A5判並製・752頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-0798-6 C3098
白居易研究年報 全20巻セオ 白居易研究会 [編]	揃本体97,300円(+税) 各巻A5判並製

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
 千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

ほんちょうもんずいししょう

本朝文粹抄 六

後藤昭雄 [著]

日本漢文の粹を集め、

平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な文献「本朝文粹」。

その漢文の世界の深遠へと誘う格好の入門書。

第六巻では特殊な漢詩形式である雑詩のうち紀長谷雄および源順による二種、および、大学寮における試験の問題と解答である策問・対策、講書竟宴等の平安期の学問世界にかかわる作品など、全十一篇を収載。

【目次】

- 第一章 貧女吟(紀 長谷雄)——不幸な女の物語
- 第二章 夏日閑居、庭前の三物を詠ず(源 順)——越調詩
- 第三章 《策問》循良を詳らかにす(菅原輔正)——学問の文章(一)
- 第四章 《対策》循良を詳らかにす(大江挙周)——学問の文章(二)
- 第五章 第八皇子の始めて御注孝経を読むを聴く詩の序(菅原文時)——学問の文章(三)
- 第六章 後漢書竟宴の詩の序(紀 長谷雄)——学問の文章(四)
- 第七章 文選竟宴の詩の序(菅原文時)——学問の文章(五)
- 第八章 冷泉院の池亭に「花光水上に浮かぶ」を賦す詩の序(菅原文時)——学問の近くにある文章
- 第九章 仏性院に秋を惜しむ詩の序(源 順)——仏性院の詩宴
- 第十章 天台山円明房に月前に閑談すといふ詩の序(大江以言)——比叡山の詩会
- 第十一章 亀山の神を祭る文(源 兼明)——山の神に祈る

作者略伝／本朝文粹作品表／あとがき／索引

後藤昭雄 (ごとう あきお)

一九四三年熊本市生まれ。一九七〇年、九州大学大学院修了。成城大学教授(二〇一三年まで)。主要著書に、『平安朝漢文学論考』(桜楓社、一九八一年。補訂版、勉誠出版、二〇〇五年)、『本朝文粹』(共著、新日本古典文学大系、岩波書店、一九九二年)、『平安朝漢文学史論考』(吉川弘文館、一九九三年)、『平安朝文人志』(吉川弘文館、一九九三年)、『日本詩紀拾遺』(吉川弘文館、二〇〇〇年)、『平安朝漢文学史論考』(勉誠出版、二〇一二年)、『本朝漢詩文資料論』(勉誠出版、二〇一二年)、『平安朝漢詩文の文体と語彙』(勉誠出版、二〇一七年)など。

書名		部数	
<h1>本朝文粹抄 六</h1> <p>後藤昭雄 [著]</p>		本体3,200円(+税) 四六判上製カバー装・312頁 2019年12月刊行 ISBN978-4-585-29224-1 C0095	
本朝文粹抄 第一期 (一～五巻) セット本体 14,000円	セット	第一巻… 本朝文粹抄 978-4-585-05367-5 C0095 2006年12月 本体 2,800円	第二巻… 本朝文粹抄 二 978-4-585-05407-8 C0095 2009年2月 本体 2,800円
第三巻… 本朝文粹抄 三 978-4-585-29221-0 C0095 2014年7月 本体 2,800円	部	第四巻… 本朝文粹抄 四 978-4-585-29222-7 C0095 2015年10月 本体 2,800円	部
第五巻… 本朝文粹抄 五 978-4-585-29223-4 C0095 2018年8月 本体 2,800円	部		
ご送付先ご住所 (通信欄)			

小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕

古文書の様式と国際比較

東アジア古文書学構築のために――

いまを生きるわれわれに歴史の一場面を伝えてくれる史料、古文書。そこに記された内容のみならず、文字の配置や大きさ、料紙の選択、印の位置など、「モノ」として残るその形もまた、

古文書の持つ様々な意味と機能を伝える貴重な情報源である。古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を、通史的・総合的に論じ、また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。日本の古文書の特徴を浮き彫りにし、東アジア古文書学の構築のための基盤を提供する画期的成果。

二〇一八年秋に国立歴史民俗博物館にて開催され、SNS等でも大きな話題となった企画展示「日本の中世文書——機能と形と国際比較」。その関連シンポジウムおよびフォーラムを一书にまとめた貴重な一冊。歴史ファン・古文書ファン待望の一冊。

掲載図版120点超!
カラー口絵では、
古文書の様式を
分かりやすく図解。

〔編者プロフィール〕……………

小島道裕(こじま みちひろ)

国立歴史民俗博物館 総合研究大学院大学教授
専門は日本中世史。

田中大喜(たなか ひろき)

国立歴史民俗博物館 総合研究大学院大学准教授
専門は日本中世史。

荒木和憲(あらき かずのり)

国立歴史民俗博物館准教授
専門は日本中世史・東アジア交流史。

〔目次〕

口絵 図解でわかる文書様式

はじめに……………小島道裕

第1部 日本の文書様式とその変遷

1 古代の文書と中世への展開

古代日本における「文書」の誕生……………小倉慈司
〔詔勅〕における口頭伝達の役割……………仁藤敦史
中世日本における書状の広がり
——古代書状論「公文書化」論を中心にして……………佐藤雄基

2 中世文書の諸相

将軍の文書と武士団の文書……………田中大喜
寺院文書の特徴
——祭議文書の形成とその背景……………横内裕人

3 戦国大名の文書と近世への展望

戦国大名の文書と天下人の文書……………金子 拓
——北条氏の「虎の印判」は東アジア標準か……………小島道裕

第2部 東アジアの古文書と日本の古文書

1 韓国の古文書をめぐって

朝鮮王朝の国王文書……………川西裕也
朴 竣鎬(稲田奈津子訳)
日本と韓国の署名花押比較……………朴 竣鎬(稲田奈津子訳)
朝鮮時代における私人間の契約文書
——様式と特徴を中心に……………文 叔子(稲田奈津子訳)
東アジア古文書の中の画指……………三上喜孝

2 中国の古文書をめぐって

中国古文書学概論
——公文書の様式研究を例に……………黄 正建(江川式部訳)
明清時代の「信牌」……………阿 風黄 素英訳)
日本古代における中国文書様式の受容と変容……………丸山裕美子

3 東アジアの文書と外交の文書

中世日本の往復外交文書
——十五、十六世紀の現存例を中心として……………荒木和憲
安南日越外交文書の様式と伝来……………藤田励夫
イルハン朝(モンゴル支配期イラン)の公文書……………四日市康博

総括 文書実践としての中世文書史……………高橋一樹

あとがき……………小島道裕
執筆者・翻訳者一覧

本体 **7,800**円(+税)
A5判上製カバー装
カラー口絵16頁+本文416頁
ISBN 978-4-585-22272-9 C3020
2020年3月刊行

<p>書名</p> <h2>古文書の様式と国際比較</h2> <p>小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕</p>	<p>部数</p> <p>本体7,800円(+税) A5判上製カバー装 カラー口絵16頁+本文416頁 ISBN978-4-585-22272-9 C3020 2020年3月刊行</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人

編

日本の表装と修理

装い、繕い、伝える――

絵画や書、古文書など、紙や絹を用いた文化財は、表装によって、より美しく、より長くその存在を守られ続ける。

これらの歴史的遺産を修理・保存し、伝えていくことは、込められた人々の思い・願いをも共有していく営みである。

表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに行われてきたものなのか。

文化財の修理・保存の第一線にあり、その困難な作業の中で、

技術者たちはどのような試行錯誤を重ねてきたのか。残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、

表装と修理にまつわる文化史を描き出し、今日の我々にとっての

文化財保護の意義と意味を照射する。

「编者プロフィール」

岩崎奈緒子（いわさき・なおこ）
京都大学総合博物館教授。専門は日本近世史。

中野慎之（なかの・のりゆき）
文化庁文化財第一課文部科学技官（絵画部門）。専門は美術史。

森道彦（もり・みちひこ）
京都国立博物館研究員（中世絵画）。専門は中近世絵画。

横内裕人（よこうち・ひろと）
京都府立大学教授。専門は日本中世史。

「おへこ」

口絵
はじめに

参考文化財の構造と名称

第一部 現代の装演・文化財修理

装演師の声を聞く

――技術者から見た装演文化財修理の進化◆岩崎奈緒子
表具師から装演師へ◆岡興造
古文書修理の歴史と理念◆湯山賢一

第二部 表装の文化史

日本中世の仏画の表装◆谷口耕生

「東山表具」の成立をめぐる小考◆板倉聖哲
江戸宗玩による表具の記録と制作◆門脇むつみ

表装が伝えるもの――後水尾院縁の掛軸を事例として◆高田智仁
近代日本における中国書画蒐集と表装◆竹浪遠
近代日本画の材料と表装◆中野慎之

第三部 修理の文化史

平安時代の仏画制作とその修理◆増記隆介

前近代における書跡・古文書修理の諸相
――現状維持の理念をめぐる◆横内裕人

護持院隆光の寺社修理――元禄期の奈良を中心に◆古川攝一
近世における障壁画の保存と継承◆森道彦
近世ヨーロッパ美術と修復

――芸術作品の受容史の視点から◆平川佳世
あとがき
執筆者一覧



持人物肖像
絹本着色江戸時代（十九世紀）
（京都府蔵（京都文化博物館管理））

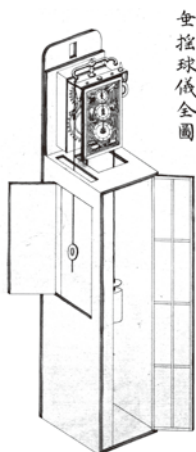
本体 7,000円(+税)

A5判上製・カラー口絵8頁+424頁
ISBN 978-4-585-20073-4 C1000
2020年3月刊行

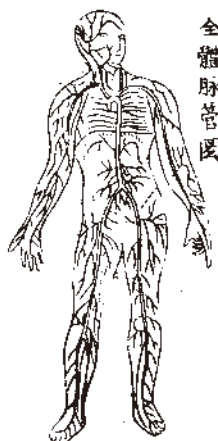
書名	部数
<p>日本の表装と修理</p> <p>岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 [編]</p>	<p>本体 7,000円(+税)</p> <p>A5判上製・カラー口絵8頁+424頁 ISBN 978-4-585-20073-4 C1000 2020年3月刊行</p>
ご送付先ご住所（通信欄）	

医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界

陳捷 [編]



全控球儀全圖



全體脈管圖

知の沃野をひらく

東アジアの知の遺産、古典籍。

なかでも**医学・本草学・農学・科学**に関する書物は、
人びとの社会・生活に密着するものとして
広く流通・展開し、大きな一群をなしている。

これまで総合的に論じられることのなかった
東アジアにおける**情報伝達と文化交流の世界を、**
地域・文理の枠を越えて考究する画期的論集。

編者略歴

陳捷(ちん・しょう)

1963年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。

専門は中国古典文献学・書物交流史。

主著に『明治前期日中学術交流の研究—清国駐日公使館の文化活動』(汲古書院、2003年)、『人物往来と書籍流転』(中華書局、2012年)、『日韓の書誌学と古典籍』(共編、アジア遊学184、勉誠出版、2015年)などがある。

目次

まえがき

第一部 医学

- 日中韓越の医書流通と医学体系の形成●真柳 誠
- 『福田方』『悲田方』の構成と復元の可能性●浦山きか
- 日本における中国舌診書『敖氏傷寒金鏡録』の受容●梁嶸(黄昱・訳)
- 東アジア伝統医学の真髄
 - 朝鮮許浚の『東医宝鑑』●朴現圭(黄昱・訳)
- 国立公文書館所蔵の朝鮮通信使の医学筆談●梁永宣・李敏(小野泰教・訳)
- 崔漢綺が読んだ西洋医学書
 - Hobson(合信)の医書と崔漢綺の『身機踐験』●金哲央
- 清末の漢文西洋薬学書におけるアヘンの記述について●小野泰教

第二部 科学

- 『新製靈台儀象志』の受容●吉田 忠
- テキストの鏡影
 - 抜粋本と清初の暦算学●祝平一(高津 孝・訳)
- 18世紀朝鮮の実学者洪大容の『劉鮑問答』
 - 西洋科学知識受容の一断面●任正嫻
- 葛飾北斎『唐土名所之絵』と中国地図の受容●大澤顯浩

第三部 博物

- 経学註釈と博物学の間
 - 江戸時代の『詩経』名物学について●陳捷
- 近世中国知識人の博物学の再構築
 - 方以智『通雅』と『物理小識』を中心に●廖肇亨(千賀由佳・訳)
- 交錯する視線—南西諸島の博物学●高津 孝
- 青蒿と黄花蒿の名物学的研究
 - ラテン名比定の問題を中心に●久保輝幸

第四部 人と書物

- 平賀源内伝の再検討
 - 『平賀実記』を中心に●福田安典
- 洋学者・柴田収蔵と江戸の本屋●平野 恵
- 近世後期における地方知識層の書物交流
 - 伊藤忠岱の書写活動を中心として●清水信子
- 医籍専売書肆英蘭堂島村利助について●鈴木俊幸

あとがき

書 名	部 数
医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界 陳捷 [編]	本体12,000円(+税) A5判上製カバー装・456頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-20072-7 C3000
ご送付先ご住所 (通信欄)	

第21回
**紫式部学術賞
受賞!!**

長瀬由美〔著〕
**源氏物語と
平安朝漢文学**

交響する和と漢

平安時代の文人貴族にとつて、漢の思想・文化は、ある種の規範かつ憧憬の対象としてあった。なかでも白居易の詩文は、日本に舶載されて以来、広く愛され、日本の漢文世界に深く根をおろすとともに、『源氏物語』などの物語文学を育む豊かな土壌となった。

仮名文学が興隆して国風文化が開花し、また一方で、漢文学的な文化潮流が再興し、頂点に達した一条朝の時代——その時代に花開いた和漢の作品を丁寧に見込み、そこにあらわれる表現を丹念に分析することで、和の内なる漢のあり方、和漢の交響を文学史上に位置付ける。

〔著者プロフィール〕
長瀬由美（ながせ・ゆみ） 一九七五年生まれ。都留文科大学文学部国文学科教授。専門は平安朝文学。主な論文に『源氏物語と中唐白居易詩について』(二〇一四年パリシノンボジウム 源氏物語とポエジー)「青簡舎」(二〇一五年)、『源氏物語』准拠の手法と唐代伝奇・中唐の文学観(『中古文学』第95号、二〇一五年六月)、『源氏物語』と「長恨歌」——正編から続編へ(『源氏物語』煌めくことばの世界2)翰林書房、二〇一八年などがある。

目次

I 白居易の文学と平安中期漢詩文

- 第一章 一条朝前後の漢詩文における『白氏文集』諷諭詩の受容
 - 第二章 菅原文時「封事三箇条」について
 - 第三章 一条朝文人の官職・位階と文学
 - 第四章 一条朝の文人貴族と惟宗允亮
 - 第五章 源為憲詩を起点として
- 金澤文庫本『白氏文集』の訓から

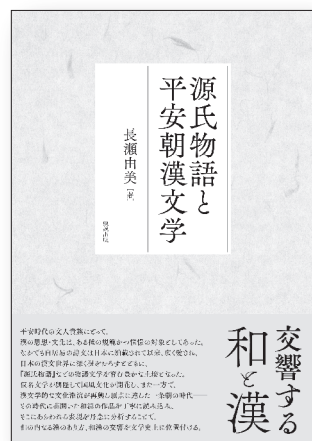
II 『源氏物語』と漢詩文世界

- 第一章 『源氏物語』准拠の手法と唐代伝奇・中唐の文学観
- 第二章 『源氏物語』と中国文学史との交錯
- 第三章 『源氏物語』と史書の接点——童謡の方法

III 白居易の文学と『源氏物語』

- 第一章 中唐白居易の文学と『源氏物語』
 - 第二章 『源氏物語』と「長恨歌」——正編から続編へ
 - 第三章 朝顔巻の紫の上——月と人と、白居易詩のこころへ
 - 第四章 荒廃した邸宅と狐
 - 付 章 『紫式部日記』の思考の姿
- 白居易詩「身」と「心」詠との関連において

あとがき／初出一覧／索引



本体七、〇〇〇円(十税)
A5判上製・三三六頁
二〇一九年二月刊行
ISBN978-4-585-29173-2 C3095

書名	部数
源氏物語と平安朝漢文学 長瀬由美【著】	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

本体7,000円(+税)
A5判上製・336頁
2019年2月刊行
ISBN978-4-585-29173-2 C3095

源氏物語の近世

俗語訳・翻案・絵入本でよむ古典

レベッカ・クレメンツ／新美哲彦【編】

古典受容のダイナミズム

写本・版本の流通量が爆発的に増えたことで、地方へからの情報の伝播、さまざまな階層への知の解放が行われた近世。それまでは貴族や大名、連歌師周辺で読み継がれていた『源氏物語』もまた、他の和歌集や物語類とともに、庶民に受け入れられていった。

『源氏物語』の俗語訳として最初に公刊された都の錦『風流源氏物語』、また、その続編として編まれた、梅翁(奥村政信)『俗解源氏物語』『若草源氏物語』『雛鶴源氏物語』『紅白源氏物語』の全篇を翻刻・注解、挿絵も全て収載。国内外の二級の研究者による優れた論考も併せて収載し、俗語訳・翻案・絵入本など、さまざまな形にうつつしかえられ、広く古典が受容されていくダイナミズムを考察するための基盤を提供する。



もくじ

序
凡例

都の錦『風流源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：柿崎理恵子

解説●レベッカ・クレメンツ

梅翁『若草源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：大塚誠也

梅翁『雛鶴源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：平田彩奈恵

梅翁『紅白源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：大塚誠也

梅翁『俗解源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：伊永好見

解説●レベッカ・クレメンツ

論考

江戸時代における「俗語訳」の意義●レベッカ・クレメンツ
女性にふさわしくない本？

——十七世紀後半の日本における『源氏物語』と『伊勢物語』
●ピーター・コーニツキ(翻訳：常田慎子)

テキストの代替●マイケル・エメリック(翻訳：幾浦裕之)
梅翁／奥村政信『源氏物語』の挿絵とテキスト●新美哲彦

あとがき

【著者プロフィール】

Rebekah CLEMENTS (レベッカ・クレメンツ) Research Professor at Institut de Recerca i Estudis Avançats (CREA) and Universitat Autònoma de Barcelona. 研究教授(カタロニア高度研究施設兼バルセロナ自治大学)。専門は東アジアの近世史。主な著書『A Cultural History of Translation in Early Modern Japan (Cambridge: Cambridge University Press, 2015)』。論文に『「つづ」の注釈書——江戸時代における『源氏物語』の初期俗語訳の意義(陣野英則・緑川真知子編『平安文学の古注釈と受容 第三集』武蔵野書院、二〇一一年)』、『Speaking in Tongues? Daimyo, Zen Monks, and Spoken Chinese in Japan, 1661-1711』(Journal of Asian Studies 76.3, 2017) などがある。
新美哲彦 (にいみ・あきひこ) 早稲田大学教授。専門は日本中古文。著書に『源氏物語の受容と生成』(武蔵野書院、二〇〇八年)、論文に『定家本『源氏物語』研究の現在／今後(『新時代への源氏学』七)』。複製化する源氏物語(竹林舎、二〇一五年)、『池田本『源氏物語』巻末付載『奥入』について』(『天理図書館報』ブリア、二〇一四年、二〇一五年) などがある。

本体 12,000円(+税)

A5判並製・七五二頁
二〇一九年七月刊行
ISBN978-4-585-29186-2 C3095

書名	部数
源氏物語の近世 俗語訳・翻案・絵入本でよむ古典 レベッカ・クレメンツ／新美哲彦【編】	部
ご送付先ご住所(通信欄)	部

本体 12,000円(+税)
A5判並製・752頁
2019年7月刊行
ISBN978-4-585-29186-2 C3095

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

古代の日本と 東アジア 人とモノの交流史

鈴木靖民 [著]

東アジアの構造はいかに形成され、
展開したのか――

文献資料、最新の考古学的成果を博搜し、
地政学的そしてヒト・モノ・文化の交流の視点より
一世紀から十世紀におよぶ
日本および東アジアの歴史的展開を
浮き彫りにする。
長年にわたり東アジア古代史研究を牽引する
碩学による最新論集。

〔著者プロフィール〕

鈴木靖民 (すずき やすたみ)

横浜市歴史博物館館長、國學院大学名誉教授、淑徳大学人文学部客員教授。

文学博士。専門は日本古代史・東アジア古代史。

主著に『比較史学への旅―ガリア・ローマから古代日本へ』(勉誠出版、二〇一二年)、『梁
職貢図と東部ユーラシア世界』(編著、勉誠出版、二〇一四年)、『日本古代の周縁史』(岩
波書店、二〇一四年)、『相模の古代史』(高志書院、二〇一四年)、『古代日本の東アジア
交流史』(勉誠出版、二〇一六年)、『日本古代交流史入門』(共編著、勉誠出版、二〇一七
年)などがある。

〔目次〕

はじめに

I 王権の始原・交易の力

- 1 加耶史の展開と倭
- 2 加耶の形成と対外交流 ――一〜三世紀
- 3 倭国の形成と加耶 ――四〜五世紀
- 4 加耶文化の北方的要素
- 5 弥生後期、根塚遺跡と東アジア

II 中心化する周辺・あらがう周辺

- 1 広開土王碑にみえる「倭」
- 2 五世紀、高句麗の王陵・祭祀・王統譜
――集安高句麗碑小考
- 3 五世紀の倭国と東アジア
- 4 反正天皇(珍)の人物像 ――記紀、宋書を通して

III 外交の形・移動する文化

- 1 新羅の倭典と上表
- 2 半跏思惟仏像をめぐる倭と百濟・新羅 ――七世紀
- 3 古代日本の文化形成に寄与した朝鮮の人びと
――七世紀を中心として
- 4 古代日本列島の遠距離交流と文化伝播

IV 交流する国家・媒介する中国

- 1 日本古代国家のなりたちと東アジアの交流
- 2 『古事記』『日本書紀』にみえる女性像
――古代国家と周縁
- 3 渤海国の首領と交易
――史的特質をめぐって
- 4 シルクロード・東ユーラシア世界と古代日本

おわりに
索引

本体 **10,000**円(+税)

A5 判上製カバー装・472頁
ISBN 978-4-585-22279-8 C3020
2020年7月刊行

書名	部数
古代の日本と東アジア 人とモノの交流史 鈴木靖民 [著]	部
本体10,000円(+税) A5判上製カバー装・472頁 ISBN978-4-585-22279-8 C3020 2020年7月刊行	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

新羅中古期の史的的研究

武田幸男 [著]

【目次】

序言

第一編 新羅官位制の研究

第一章 新羅・法興王代の律令と衣冠制

第二章 金石文資料からみた新羅官位制

第三章 新羅官位制の成立

第四章 新羅官位制の成立に関する覚書

第二編 新羅「教事碑」の研究

第一章 浦項・中城里碑の研究

第二章 迎日・冷水里碑の立碑年次と「王教」主体

第三章 蔚珍・鳳坪碑の「教事」主体と「刑罰執行」

第四章 真興王代における新羅の赤城経営

第五章 丹陽・赤城碑の「教事」主体と「教事」内容

第三編 蔚州書石の研究

第一章 顔のない人物像の彼方

第二章 「乙巳年原銘」と「己未年追銘」の研究

蔚州書石谷における新羅・葛文王一族

蔚州書石「癸巳六月廿二日銘」の研究

新羅・沙喙部集団の書石谷行

第四編 新羅支配体制の研究

第一章 新羅六部とその展開

第二章 新羅の法幢軍団とその展開

第三章 新羅の二人派遣官と外司正

新羅地方檢察官の系譜

第四章 私の新羅史探求の旅

新羅の国号・王号・王権とタロの系譜

あとがき

索引

【著者プロフィール】

武田幸男(ただだ・ゆきお)

東京大学名誉教授。専門は朝鮮前近代史。

著書に『高麗史日本伝』上・下(岩波書店、二〇〇五年)、『広開土王碑との対話』(白帝社、二〇〇七年)、『広開土王碑墨本の研究』(吉川弘文館、二〇〇九年)などがある。

古代東アジアにおける国際関係を考える上で、朝鮮半島に展開した各国の動向は見逃すことのできない大きなテーマである。ただし、残存史料が断片的であるなど困難も多く、その研究構築は容易ではない。本書は、日本とも関連の深い、朝鮮半島の古代史で、主導的役割を担った新羅について、とくに飛躍的な発展を見せた新羅中古期(五一四〜六五四年)を中心に考究。近年、陸続と発見された各種の新羅碑文を、諸史料とともに精緻に読み込むことにより、当時の激動する東アジアの国際関係における、新羅の史の実態とその展開過程を明らかにする。金石文・文献史料双方に精通し、朝鮮古代史の先達として活躍する泰斗による待望の一書。

本体 12,000円(+税)

A5 判上製カバー装・568頁
ISBN 978-4-585-22278-1 C3022
2020年7月刊行

書名	部数
新羅中古期の史的的研究 武田幸男 [著]	部
本体 12,000円(+税) A5判上製カバー装・568頁 ISBN978-4-585-22278-1 C3022 2020年7月刊行	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

仏教の東漸と西漸

【アジア遊学251】

ぶつぎょうのとうせんとせいぜん

荒見泰史 [編]

言語・思想・政治にみる
宗教の伝播と変容

仏教の伝播は、従来インドから中国を経て東アジアや東南アジアへと伝わる「東漸」に着目して論じられることが多かった。

しかし、東アジアの中心である中国で受容・昇華された仏教が中国から外部へと向かっていく方向性にも目を向けなければ、伝播の実態をつかむことはできない。

本書では中国への「東漸」の逆方向をイメージするため、この外部に向かう方向性を「西漸」と称している。さまざまな儀礼や経典、文学、図像を取り上げ、

各時代の広い社会層における信仰・宗教の伝播と継承、衝突と融合の実態を東漸と西漸の双方向から考察し、新しい文化史を構築する。

【編者紹介】

荒見泰史 (あらみ・ひろし)

広島大学大学院人間社会科学研究科教授。広島大学 Distinguished Professor。専門は中国文学、中国語学、敦煌学、仏教文学。主な著書に『仏教文学研究論集』(共編、復旦大学出版社、二〇〇四年)、『敦煌変文写本の研究』(中華書局、二〇一〇年)、『敦煌講唱文学写本研究』(中華書局、二〇一〇年)などがある。

【目次】

総論 仏教の東漸と西漸…荒見泰史

I ● 儀礼とそのことば

頌讃の文学…荒見泰史

志慕玄奘、独歩五天 — 唐五代宋初の讚と玄奘、義浄の讚…楊明璋

清代前期、媽祖信仰・祭祀の日本伝播とその伝承

— ヨーロッパの東アジア進出も視野に入れて…松尾恒一

II ● 尊像の造形と伝承

信仰における図像と継承

— 敦煌に見られる山と天界の図像を中心として…荒見泰史

五臺山騎獅文殊尊像群の東漸と西漸

— 五臺山・比叡山・敦煌の尊像群から…白須淨眞

III ● 経典と物語、その伝播

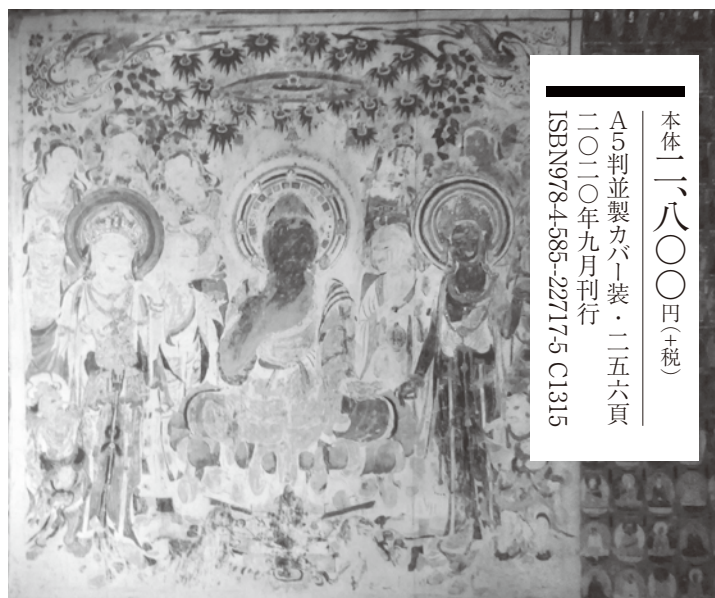
『賢愚経』の伝播…高井龍

『キツツキと獅子』説話の伝播と発展…梁麗玲

『仏母経』の流行から見る疑経の受容…岸田悠里

明代、南シナ海の高僧の活動と記憶

— 日本・中国大陸・東南アジアの宗教史跡をめぐって…松尾恒一



本体 二、八〇〇円(+税)
A5判並製カバー装・二五六頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22717-5 C1315

書名	部数
仏教の東漸と西漸 荒見泰史 [編]	本体 2,800円(+税) A5判並製カバー装・256頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22717-5 C1315
ご送付先ご住所 (通信欄)	

アジアの死と

鎮魂・追善

【アジア遊学245】

原田正俊 [編]

死をめぐる思想と儀礼――

臨終や葬儀、鎮魂などの儀礼の展開は、各時代・地域において多様な様相をみせ、アジア全体で共通する要素も多い。

儒教・仏教・道教は、盛んに「死」の意味づけ、儀式の意義を説き、社会に儀礼を定着させ、祭祀の対象として絵画・仏像などの造形物や説話も広まっていった。

人々は「死」をどうとらえ、どんな文化を創り出したのか。

アジアにおける死と鎮魂についての文化を歴史学・思想史の立場から考察。

【编者紹介】

原田正俊 (はらだ まさと)

関西大学文学部教授。専門は日本中世史・仏教史。主著・編著に、『日本中世の禅宗と社会』（吉川弘文館、一九九八年）、『日本古代中世の仏教と東アジア』（編著、関西大学出版部、二〇一四年）、『仏教がつなぐアジア―王権・信仰・美術』（共編著、勉誠出版、二〇一四年）などがある。



【目次】

序文……原田正俊

I ● 臨終・死の儀礼と遺体

道教の死体観……三浦國雄

日本古代中世の死の作法と東アジア……原田正俊

契丹人貴族階層における追薦……藤原崇人

佐藤一斎『哀敬編』について

——日本陽明学者の新たな儒教葬祭書……吾妻重二

北京におけるパンチェン・ラマ六世の客死と葬送……池尻陽子

II ● 鎮魂・追善と社会

慰霊としての「鎮」の創出

——「鎮護国家」思想形成過程の一軸として……佐藤文字

神泉苑御霊会と聖体護持……西本昌弘

南北朝期における幕府の鎮魂仏事と五山禅林

——文和三年の水陸会を中心に……康 昊

烈女・厲鬼・御霊

——東アジアにおける自殺者・横死者の慰霊と祭祀……井上智勝

照月寿光信女と近世七条仏師……長谷洋一

華人の亡魂救済について

——シンガポールの中元行事を中心に……二階堂善弘

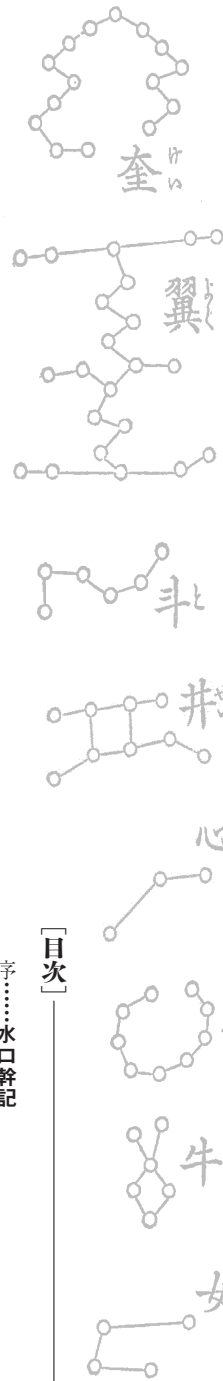
本体 2,800 円(+税)

A5判並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-22711-3 C1339
2020年3月刊行

書名	部数
アジアの死と鎮魂・追善 【アジア遊学No.245】 原田正俊 [編]	本体2,800円(+税) A5判並製カバー装・208頁 2020年1月刊行予定 ISBN978-4-585-22711-3 C1339
ご送付先ご住所 (通信欄)	

前近代東アジアにおける 〈術数文化〉

『アジア遊学244』 水口幹記 [編]



天文学・数学・地理学など自然科学分野と、
易を中心とした占術が複雑に絡み合った
思想・学問である「術数」――

術数は前近代を通じて東アジアの国々に広く伝播し、
それぞれの社会に深く浸透してゆくことで、民族文化
の形成にも強い影響を与えた。

本書では、幅広い文化的現象を統合する用語として〈術
数文化〉を設定し、これまでの研究では看過されがち
であった理論・思想以外の事象である「文学・学術・
建築物などへの影響や受容」を対象とし、東アジア地
域への伝播・展開の様相を通時的に検討する。
中国中心の術数研究から東アジアへの展開を望む。

〔编者紹介〕

水口幹記 (みずぐち かつら・もとき)

藤女子大学文学部准教授。専門は東アジア文化史。
主著『渡航僧成尋、雨を祈る』『僧伝』が語る異文化の交錯(勉誠出版、二〇
一三年)、『古代日本と中国文化 受容と選択』(塙書房、二〇一四年)などがある。

〔目次〕

序……水口幹記

総論——〈術数文化〉という用語の可能性について……水口幹記

I ●〈術数文化〉の形成・伝播

人日と臘日——年中行事の術数学的考察……武田時昌

堪輿占考……名和敏光

味と香……清水浩子

郭璞『易洞林』と干宝『搜神記』

——東晋はじめ、怪異記述のゆくえ……佐野誠子

白居易新樂府「井底引銀瓶 止淫奔也」に詠われる「瓶沈簪折」について

——唐詩に垣間見える術数文化……山崎 藍

引用書から見た『天地瑞祥志』の特徴

——開元占経及び『稽瑞』所引の『漢書』注釈との比較から……洲脇武志

宋『乾象新書』始末……田中良明

獸頭の吉鳳「吉利・富貴」について

——日中韓の祥瑞情報を手がかりに……松浦史子

三善清行「革命勘文」に見られる緯学思想と

七〜九世紀の東アジア政治……孫英剛

II ●〈術数文化〉の伝播・展開

ベトナムにおける祥瑞文化の伝播と展開

——李朝(一〇〇九〜一二二五)の靈獸世界を中心にして……ファムレ・ライ

漢喃研究院に所蔵されるベトナム漢喃堪輿(風水)資料の紹介

……チン・カク・マイン／グエン・クオック・カイン

漢喃曆法の文獻における二十八宿に関する概要……グエン・コン・ヴィエト

ベトナム阮朝における天文五行占の受容と禁書政策……佐々木 聡

「越旬幽霊集録」における神との交流……佐野愛子

「新羅海賊」と神・仏への祈り……鄭 淳一

「観象玩占」にみる東アジアの術数文化……高橋あまの

平安時代における後産と医術／呪術……深澤 瞳

江戸初期の寺社建築空間における説話画の展開

——西本願寺御影堂の幕彫彫刻二十四孝図を中心に……宇野瑞木

本体 3,200 円(+税)
A5判並製カバー装・312頁
ISBN978-4-585-22710-6 C1310
2020年3月刊行

書名	部数
前近代東アジアにおける〈術数文化〉 【アジア遊学No.244】 水口幹記 [編]	部
本体3,200円(+税) A5判並製カバー装・312頁 2020年3月刊行 ISBN978-4-585-22710-6 C1310	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井晋

〔編〕

従来の茶文化史の
ミッシングリンクを埋める貴重史料
日本の中世社会において、

茶はさまざまな場面で利用されてきた。

特に鎌倉の武家文化・宗教文化は、飲用のみならず、
儀礼や贈答などさまざまな場において、
茶との密接な関係を有してきたが、

従来の研究では、禅宗とのかかわりが強調されることが多く、
充分に考察がなされているとはいえない。

これら中世東国の茶の歴史をいまに伝える史料が

『金沢文庫古文書』のなかに多数存在する。

同史料群より貴重史料三〇八通の翻刻と解説を行い、
編年で配列、これまで見落とされてきた

中世日本の茶をめぐる文化的広がりを明らかにする。

【編者プロフィール】

永井 晋（ながい・すすむ）

神奈川県立金沢文庫主任学芸員、神奈川県立歴史博物館企画普及課長を経て、現
在関東学院大学客員教授。専門は日本史。主要著書に、『金沢貞顕』（吉川弘文館、
二〇〇三年）、『金沢北条氏の研究』（八木書店、二〇〇六年）、『金沢北条氏編年資
料集』（共著、八木書店、二〇一三年）、『源頼政と木曾義仲——勝者になれなかった
源氏』（中央公論新社、二〇一五年）、『平氏が語る源平争乱』（吉川弘文館、二〇一
九年）、『鎌倉僧歴史典』（八木書店、二〇二〇年）などがある。



同時刊行!

永井 晋〔編〕 『アジア遊学252号』

中世日本の茶と文化
生産・流通・消費をおして

本体一、八〇〇円（+税）

A5判並製カバー装・二四〇頁

二〇二〇年九月刊行

ISBN978-4-585-22718-2 C1321

【目次】

カラー口絵
はじめに

翻 刻

解説『金沢文庫古文書』の中世喫茶史料
金沢氏・称名寺喫茶関係資料参考年表

あとがき

索 引

本体一〇、〇〇〇円（+税）

A5判上製カバー装

口絵四頁+本文三七六頁

二〇二〇年九月刊行

ISBN978-4-585-22288-0 C3021

湛睿書状（国宝金沢文庫古文書より）

<p>書 名</p> <p>金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集 永井 晋〔編〕</p>	<p>部 数</p> <p>本体 10,000円（+税） A5判上製カバー装・口絵4頁+本文約376頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22288-0 C3021</p> <p>部</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

中世日本の茶と文化

生産・流通・消費をとおして

〔アジア遊学252〕

永井晋〔編〕

日本の中世社会において、

「茶」はどのように生産され、流通したのか。

また茶・喫茶にかかわる儀礼や文化は

どのように受容され、展開したのか。

称名寺に伝来した平安時代から室町時代までの茶に関する文献史料、各地に残された美術工芸品や考古資料などの諸資料を丹念に紐解き、また、考古学・農業学・気候史・技術史・遺伝子学など様々な分野の視点なども交え、「茶の湯」・「茶道」成立以前の「中世の茶」をとらえ直す。

同時刊行!

金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井晋〔編〕

貴重史料三〇八通の
翻刻と解説を編年で配列。
中世日本の茶をめぐる
文化的広がり进行らかにする。

本体 一〇、〇〇〇円(十税)
A5判上製カバー装
□ 総四頁+本文三七六頁
ISBN978-4-585-22288-0 C3021

〔編者紹介〕

永井晋(ながい・すすむ)

関東学院大学客員教授。専門は日本中世史。主な著書・論文に『金沢北条氏の研究』(八木書店、二〇〇九年)、「鎌倉時代の文章道大業の家——勤める官職と活動の場」(福島金治編『学芸と文芸生活と文学の歴史学 九』竹林舎、二〇一六年)、「武家の棟梁摂津源氏の終焉」(中村文編『歌人源頼政とその周辺』青簡舎、二〇一九年)などがある。

〔目次〕

序文 鎌倉・室町前期における茶の研究 ● 永井 晋

第一部 ● 称名寺伝来資料に残る茶の世界

国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」の茶関係資料 ● 山地 純

「金沢文庫古文書」が示す鎌倉・房総の茶 ● 永井 晋

「称名寺聖教」に見える「茶」と「茶」 ● 張 名揚

コラム ● 中世都市鎌倉と喫茶文化 ● 大澤 泉

第二部 ● 中世における茶の生産と道具

中世前期の茶の受容 ● 福島金治

抹茶の変容——中世の気候変動と覆い下茶園の成立 ● 沢村信一

中世前期の茶白 ● 桐山秀穂

建蓋と天目——茶器の種類と名称 ● 岩田澄子

第三部 ● 中世仏教と茶

梅尾茶 醍醐茶の評判——十四世紀高山寺の喫茶文化 ● 芳澤 元

東アジア仏教文化と中世信濃の喫茶

——王禎「農書」の名煎・末茶・蠟茶に基づく考察 ● 椋津宗伸

薬としての茶——榮西・性全・忍性・叡尊 ● 岩間眞知子

コラム ● 中世鎌倉の喫茶——建長寺境内の発掘調査成果から ● 宮田 眞

コラム ● 仏教美術と茶——羅漢図に見る喫茶文化 ● 米沢 玲

第四部 ● 地方の茶

中世武蔵国の慈光茶——銘柄の形成とその風味 ● 小田部家秀

出土遺物からみた中世寺院と茶

——伊豆国円成寺跡の出土遺物から ● 池谷初恵

コラム ● 称名寺領下総国下河辺庄赤岩郷周辺に残る在来 ● 佐々木清匡

コラム ● 史跡河越館跡から出土した喫茶関係資料 ● 平野寛之

第五部 ● 室町時代の茶

室町社会における巡幸と茶寄合 ● 白川宗源

コラム ● 花はさかりに、月はくまなきのみ見るものは ● 橋本 雄

本体 二、八〇〇円(十税)

A5判並製カバー装・二四〇頁

二〇二〇年九月刊行

ISBN978-4-585-22718-2 C1321

書名	部数
中世日本の茶と文化——生産・流通・消費をとおして 【アジア遊学No.252】 永井晋〔編〕	本体2,800円(十税) A5判並製カバー装・240頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22718-2 C1321
ご送付先ご住所(通信欄)	

酔いの文化史

儀礼から病まで

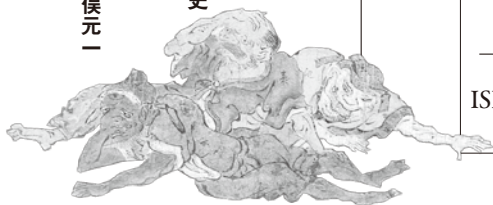
伊藤信博 [編]

[アジア遊学 250]

本体 2,800 円(+税)
A5判並製カバー装・256頁
ISBN978-4-585-22716-8 C1320
2020年8月刊行

東西飲酒文化の深層に迫る

日本酒やワインは、どのように生み出され、人々の生活に息づいてきたのか。飲む行為と宗教や儀礼とはどのような結びつきについているのか。醸造や酒宴の歴史から、食文化とのかかわり、文学・絵画における表象、アルコール依存症など現代的な問題まで、宗教的・社会的機能をもつ飲酒文化について、文学史・美術史・歴史学・食文化史など様々な分野から切り込む。



[目次]

序言——東西の飲酒文化を考える……伊藤信博

I ● 酔いと宗教

無明の酒に酔う——「酔い」の表現史……小峯和明
鬮鉢盃をめぐって——織田信長を端緒に……目黒将史
僧坊酒宴追考……芳澤 元
酒と仏教——酒の仏は

「酔い酔い酔い酔い、酔いやな」……石井公成
「コラム」人類最初の酔っぱらいとしてのノア……木俣元一

II ● 飲酒とその表象

平安貴族の「酔い」と「まつりごと」……高橋 亨
平安後期における「酔い」
——「香要抄」を中心に……アンドリュウ・マツカンバー

破戒と陶酔——中世絵画に見る……山本聡美
黄表紙に擬人化される酒……畑 有紀

中世文学のなかの居酒屋と放蕩息子——クリシエカ現実か……前野みち子

III ● 飲酒と環境

米と酒そしてその周辺——環境の視座から……伊藤信博・伊藤彰敏
椒芽田楽の洒落本から見るお酒と酔い……テイラン・ミンギ
飲料の製造、飲み方と文化
——例外としての日本酒……ニコラ・ポーマール

アンシャンレジム期のフランスにおける

酔いに対する寛容……マテユール・ルクートル(棚橋美知子 訳)
酔う女——徳田秋聲「新世帯」と明治期の飲酒文化……安井海洋

「コラム」日本酒と肴——海辺の村で呑み初め……小川雅魚

IV ● 飲酒と病

「コラム」フランスにおけるアルコール中毒対策の

政策的曖昧さ……ジャン・ロベール・ピット(棚橋美知子 訳)
「コラム」飲酒と体内器官の関係……トマ・ロラン(棚橋美知子 訳)
「コラム」アルコール飲料製造における

生物学的プロセス……アンドレス・マツラナ(棚橋美知子 訳)

翻訳を終えて……棚橋美知子

[编者紹介]

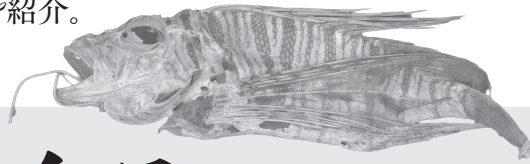
伊藤信博(いとうのぶひろ)

相山女学園大学教授。専門は比較文化史。主な論文に、「掲鉢図と水陸齋図について」(『日本文学の展望を拓く——絵画イメージの回廊』第二巻、笠間書院、二〇一七年)、「擬人化の転換期において」(『妖怪・憑依・擬人化の日本文化——異類文化学入門』笠間書院、二〇一六年)、共編者に、「酒飯論絵巻・影印と研究——文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺」(臨川書店、二〇一五年)などがある。

書名	部数
酔いの文化史 儀礼から病まで 【アジア遊学No.250】 伊藤信博 [編]	部
本体 2,800 円(+税) A5判並製カバー装・256頁 2020年8月刊行 ISBN978-4-585-22716-8 C1320	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

書物を集め、愛でた人々、そして、海を越えて伝えられた蔵書に秘められたドラマを描き出す。

日本古典籍はその残存状況の良さ、また、美しくつ内容が豊富であることから、世界各地にコレクションとして伝存している。本特集では、欧米の著名なコレクションから、ハワイ大学、ホノルル美術館、アメリカ議会図書館、UCバークレー、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学という名だたる所蔵機関の特色ある蔵書を紹介。



●特集

蔵書はめぐる

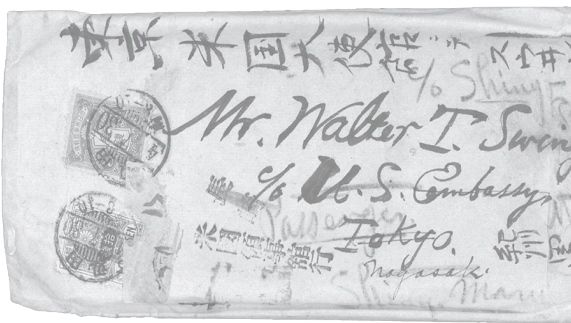
海外図書館の日本古典籍コレクション

個人蔵書のゆくえ◎横山學

「東西の十字路」楽園ハワイの中の古典籍とその来歴
 ——ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部日本文庫から◎バゼル山本登紀子
 古典籍もART——ホノルル美術館収蔵和古書と作品整理について◎カワイアエア幸代
 米国議会図書館日本古典籍コレクションの来歴と「北方資料」◎伊東英一／キャメロン・ペンウェル
 太平洋を渡った日本古典籍
 ——カリフォルニア大学バークレー校C. V.スター東アジア図書館コレクション◎マルラ俊江
 蔵書を通して見る日本との出会い
 ——オックスフォード大学ボドリアン図書館の和古書コレクション◎イズミ・タイトラー
 アーネスト・サトウと武家故実資料
 ——ケンブリッジ大図書館古典籍コレクションの来歴の一端をさぐる◎小山騰

【連載】書物学ことはじめ

【新連載】書籍はどう動いたのか
 ——近代書籍流通史料の世界◎磯部敦
 書物の声を聞く 書誌学入門◎佐々木孝浩
 江戸時代の古文書の読み方◎白川部達夫
 愛書家としての鲁迅◎瀧本弘之
 西洋古書の遠近法◎雪嶋宏一
 英国愛書家の系譜◎高宮利行
 【特別寄稿】
 小説の連続性と英詩の役割◎野網摩利子



BIBLIOLOGY 書物学 18

古今東西の知の宝庫に分け入り、
 読書の楽しさを満喫する！

本体一、八〇〇円＋税
 B5判並製・二二〇頁（フルカラー）
 二〇二〇年七月刊行
 ISBN978-4-585-20718-4 C1000

書名	部数
書物学 18 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション 編集部[編]	本体1,800円(+税) B5判並製・120頁(フルカラー) 2020年7月刊行 ISBN978-4-585-20718-4 C1000
ご送付先ご住所（通信欄）	